



上向台小だより

3月号
西東京市立上向台小学校
令和5年2月28日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

それぞれの春に向かって

校長 町田 元彦

校長室に入ってくる風が、春の薫りを連れてきます。早いもので、今年度も残すところあと1か月となりました。6年生の教室には「卒業まであと〇〇日」という掲示があり、残り少ない小学校生活を大切にしようという気持ちが伝わってきます。本校では、どの学年も学級編制替えがあるので、6年生に限らず1年生から5年生も、現在の学級での残り時間を大切にしてほしいと、願わずにはられません。

この1年間を振り返ると、たくさんの方々の温かさに包まれ、支えられてきた毎日でした。子どもたちの学習を支援していただいた方々をはじめ、登下校時に子どもたちの安全確保に努めてくださった方々や、体育発表会や学習発表会で様々な係を担当していただいた方々など、紹介しきれないくらいの保護者や地域の皆様に、多くの場面で支えていただきました。数々のご支援に改めまして深く感謝申し上げます。

さて、3月8日から20か国が参加する世界最大の野球大会、ワールドベースボールクラシック(WBC)が始まります。第2回大会以来の優勝に挑む侍ジャパンは、大谷選手やダルビッシュ投手らメジャー組に加えて、昨年の三冠王・村上選手や投手五冠・山本投手などが集結します。私と同様に、侍ジャパンの活躍を楽しみにしている方も多いかと思います。

そのWBCに向けて、侍ジャパンの強化合宿が始まりました。ここ連日、合宿で各選手がそれぞれの課題に向き合い、トレーニングに励む様子がニュース等でも報道されています。1月からの自主トレーニングや今回の強化合宿で、いかに自分を鍛え、高めることができるかが、WBCでの個の活躍やチームの勝利への鍵となるのです。

また、校庭の桜の木に目を移すと、葉がすべて落ち、じっと寒さに耐えているだけのように見えますが、よく見ると枝先にはたくさん木の芽が膨らんでいます。変わらないように見える樹木も、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めているのです。

土の中でも同様に、冬ごもりをしていた虫たちが活動を始め、1か月近くの時間をかけて少しずつ力を蓄えて、ゆっくりと這い出てくるのです。

子どもたちにとっても、この3月は、ちょうどそうした時期です。6年生は卒業・進学に向けて、1年生から5年生は進級に向けて、それぞれの学年の仕上げをする時期です。

4月に新しい学年になってから・・・ではなく、それぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げ、いざという時に発揮できる力を蓄えていってほしいと願っています。